



## 株式会社ジャングルデリバリー

### 耕作放棄地でのオリーブ栽培で 様々な社会課題の解決に アプローチ



所在地 館林市

住所・・・館林市本町3-2-11  
TEL・・・0276-72-0380  
URL・・・<https://jungledelivery.co.jp/>  
代表者・・・三田 英彦  
設立・・・2017年7月24日  
資本金・・・15,000千円  
従業員・・・5名



### 事業者紹介

2017年のGIA(群馬イノベーションアワード)出場を機に起業。社会課題となっている耕作放棄地に野生動物が生息する問題にフォーカスし、新たな農業生産の仕組みを提供するべくオリーブ栽培を開始しました。2022年には初収穫を迎え、オリーブオイルの試験販売を行い、高い評価を得ました。オリーブの実や葉を活用したオリーブオイル、化粧品、茶などの製品を展開し、多くの地域連携を行いながら付加価値の高い製品をつくり国内外への流通を目指しています。

### 経緯・背景

地球規模で環境変化が激しく、農産物生産の前提条件が崩れています。農業は環境変化に適応させながら行うことが重要です。今では山形でサクラノボの生産量が落ち、北海道で美味しい米が収穫できるようになりました。この著しい環境変化の中で広く適応できる作物として当社はオリーブに着目しています。オリーブは南は九州地方、北は宮城県石巻市まで、実の収穫が可能です。当社が、農家で生産された実と葉を買い取ることで、群馬県でのオリーブビジネスのスキームが完成しています。

## 地域連携を行いながら 付加価値の高いオリーブ製品の 国内外での流通を目指す

### 具体的な取組・成果



- ① 農福連携として、剪定したオリーブの枝からの葉もぎを福祉施設等に依頼しています。A型就労施設1ヶ所・B型就労施設2ヶ所・老人介護施設1ヶ所の4施設がオリーブ収穫に参画しています。
- ② 食品リサイクルループへの取組として、大手コーヒーチェーンの排出したコーヒーグラウンズ(抽出後のコーヒー粉)を回収し、堆肥に変え、キュウリやオリーブ栽培に役立てています。排出元の企業がこのキュウリを買い取ったり、オリーブ苗を店舗植栽に利用するなどによりループの仕組みができました。
- ③ 農畜連携として、畜産家の排出する糞を堆肥化し、オリーブ搾油時に出るしぼりかすを家畜の飼料として提供しています。
- ④ 県内地域連携として、オリーブ葉茶を麺類・ドリンク・アルコール・菓子等の原料として採用いただいています。



- ⑤ オリーブオイルは台湾にて、オリーブ茶等は香港やタイ、シンガポールにて、輸出品としてのテストマーケティングをスタートしています。当社のクラフトオリーブオイルは、2023年度の全国商工会連合会主催の食のコンテスト「buyer's room」で審査員特別賞を受賞しました。



- ⑥ 群馬県の新たな地域特産物として、オーガニックビレッジ宣言をした甘楽町や、中山間地特有の課題に取り組む安中市等が、当社と連携しオリーブの栽培・普及を始めています。



### 当社にとってのSDGsビジョン

当社のパーパスは「千年続く、大地を創る。」です。環境への配慮と経済合理性の両立を掲げて活動をしています。

### 今後の展望と求めるパートナー像

地域をあげてオリーブ栽培に取り組み、原料提供のみならず、地域特産品や、コミュニティ強化のためのアイテムとしてオリーブ製品を取り扱っていただける自治体。